

大野町立東小学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 (奉仕) 国際理解・親善 その他 ()
活動の単位	(全校) (学年) (委員会) クラブ その他 ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 (総合的な学習) (児童会・生徒会活動) (委員会・部活動) 学校行事 その他 ()

1. 活動テーマ

相手の立場を理解し、助け合う思いやりの心の育成

2. 学校紹介

本校は、昭和58年に大野小学校から分離し、今年度で31年目を迎える学校である。大野町の東に位置し、根尾川をはさんで本巢市と接している。東に根尾川、西にその支流である三水川が流れ、自然豊かな地域である。特に、大野町の特産物である富有柿の畑が多く点在する。また、史跡も数多くあり、学習素材に恵まれている。

学校の教育目標は「一人歩きのできる子 なかよく かしく たくましく」を掲げ、自主性を重んじる活動に重点を置いて取り組みを進めている。

3. 活動内容

(1) ファミリー活動 (異年齢集団による活動)

ファミリー活動は、全校を12の縦割りグループに分け、隔週の火曜日の青空タイム(20分休み時間)に、6年リーダーを中心に、みんなで楽しく遊ぶ活動を行っている。昨年より、年度初めに、全校が一緒になって遊ぶ「ファミリー集会」を行っている。ファミリー対抗の「手つなぎリレー」や「ころがしドッジ」、大人数での「はないちもんめ」など、ファミリーならではの遊びに、大きな歓声があがった。運動会種目にも「ファミリージャンプ」があり、年間を通して活動を進めている。こうした関わりの中で、高学年は下学年を思いやる言動や態度を身に付け、下学年の児童は高学年の児童に対する憧れを抱くようになってきた。



(2) 奉仕活動

① 掃除ボランティア

本校は、毎週水曜日は掃除を行わず、児童が思いきり仲間と活動する時間を確保している。その時間を活用して、美しい環境にしようと整備委員会が中心となって掃除ボランティアを呼びかけている。使う人のことを考えて学校をきれいにしようと、特に、中・高学年が進んで参加している。短い時間ではあるが、一生懸命に掃除を行う姿が多く、おかげで、掃除のない日でも気持ちよく生活することができている。

②エコキャップ運動

計画委員会が中心となって、エコキャップ回収運動を行っている。校舎各階に回収箱を設置し、いつでも回収できるようにしている。ペットボトルのキャップを集めることが、自然環境を守ることやポリオワクチンに換えて人の命を救うことにつながることから、身近な人のためだけでなく、広い視野で人のためになるという意識をもつことができるようになってきた。その考えは、学校の中だけでなく、家庭への活動にも広がりつつある。

(3) 体験活動

大野町の福祉施設である「つつじの里」「プラザ21」を訪問した。

児童たちは、施設・設備を見学させてもらい、利用される方々への配慮や使いやすくする工夫について、多くのことを学んできた。また、職員の方々の様子から、相手のペースに合わせた働きかけ、相手のことを考えた声の大きさや表情、動きなどの大切さを学び、その後の学校での活動につながった。



ここがポイント	テーマ実現に向けて、学校の教育活動全体から、児童の主体的な活動を多様に位置付けた。
ここがねらい	自分と友達や他学年の児童、そして地域との関わりを深める活動を意図的・計画的に位置付けることで、相手の立場を理解し、助け合う思いやりの心を育てる。
効 果	仲間や周囲の人と数多く接する機会をもつことで、自分や相手の立場を考えた言動をとることができるようになってきた。また、下学年の児童は高学年の姿を見て今後の自分の姿を描くことができる。
学校等のコメント	継続的に行ってきた活動が、学校生活の充実につながることを児童自ら実感することで、児童のより主体的な活動としていきたい。それを、東小学校の伝統へとつないでいきたい。

担当者氏名：教頭 橋田 浩次